

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 13 日(2025.2.13)

【国際公開番号】WO2023/234367
【出願番号】特願 2024-524921(P2024-524921)

【国際特許分類】

C 0 8 L 6 9 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 6 7 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 5 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 6 9 / 0 0

C 0 8 L 6 7 / 0 2

C 0 8 L 5 1 / 0 4

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 21 日(2024.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリカーボネート系樹脂 (A) 、
非晶性ポリエステル系樹脂 (B) 、
コアシェル型弾性体 (C) 、及び、
難燃剤 (D) を含有し、

前記非晶性ポリエステル系樹脂 (B) の含有量は、前記ポリカーボネート系樹脂 (A)
と前記非晶性ポリエステル系樹脂 (B) の合計のうち 1 5 ~ 3 5 重量 % であり、

30

前記非晶性ポリエステル系樹脂 (B) は、グリコール変性ポリエチレンテレフタレート
(b 1) を含み、

前記非晶性ポリエステル系樹脂 (B) のうち、前記グリコール変性ポリエチレンテレフ
タレート (b 1) の含有量が 1 5 ~ 1 0 0 重量 % であり、

前記コアシェル型弾性体 (C) の含有量は、前記ポリカーボネート系樹脂 (A) と前記
非晶性ポリエステル系樹脂 (B) の合計 1 0 0 重量部に対して 1 ~ 3 0 重量部であり、

前記コアシェル型弾性体 (C) の体積平均粒子径が 2 5 0 n m 以上であり、

前記コアシェル型弾性体 (C) は、乳化剤としてリン酸系乳化剤を含む、樹脂組成物。

【請求項 2】

前記コアシェル型弾性体 (C) が、ブタジエンゴム又はスチレン / ブタジエン共重合体
ゴムを含むコア層と、メタクリル酸メチル、スチレン、及び、アクリル酸ブチルからなる
群より選択される少なくとも 1 種を構成単量体として含む重合体を含むシェル層とを有す
る、請求項 1 に記載の樹脂組成物。

40

【請求項 3】

前記非晶性ポリエステル系樹脂 (B) のうち、前記グリコール変性ポリエチレンテレフ
タレート (b 1) の含有量が 4 0 ~ 1 0 0 重量 % である、請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組
成物。

【請求項 4】

前記コアシェル型弾性体 (C) が酸ラテックス肥大品である、請求項 1 又は 2 に記載の
樹脂組成物。

50

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組成物が成形されてなる成形体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 3】

< 実施例 7、参考例 1 ~ 6 及び比較例 1 ~ 7 >

表 1 に示した配合に従って、以下に示す各成分を用いて、ポリカーボネート系樹脂を含む樹脂組成物から構成されるペレット及び試験片を作製し、シャルピー強度（衝撃強度）、引張特性、曲げ特性、HDT、難燃性、及び MFR を測定した。尚、MFR は、熔融時の流動性を示す指標である。MFR 値が大きいほど熔融時の流動性が高いことを示す。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 7】

10

20

30

40

50

【表 1】

	(A)成分 (重量%)	(b1)成分		(b2)成分、又は (B')成分		(C)成分、又は(C')成分			(D)成分		シヤルベ- 強度(kJ/m ²)		引張特性		曲げ特性		HDT	難燃性	MFR 250℃
		種類	(重量%)	種類	(重量%)	種類	(重量部)	粒子径 (nm)	乳化剤	(重量部)	23℃	-30℃	降伏強度 (MPa)	破断伸び (%)	曲げ強度 (MPa)	曲げ 弾性率 (MPa)	℃	1.2mm	g/10min
参考例1	70	b1-1	30	-	-	C-1	10	120	リン酸系	15	65.2	10.9	54.6	76.2	90.5	2421	80.2	V-0	30.3
参考例2	80	b1-1	20	-	-	C-1	10	120	リン酸系	15	43.6	13.0	56.1	51.7	82.4	2301	90.8	V-0	24.3
参考例3	70	b1-2	30	-	-	C-1	10	120	リン酸系	15	51.3	15.5	53.2	55.0	77.8	2127	82.1	V-1	20.9
参考例4	70	b1-1	15	b2-1	15	C-1	10	120	リン酸系	15	44.4	12.2	54.5	66.5	79.4	2207	83.3	V-1	12.1
参考例5	70	b1-1	10	b2-1	20	C-1	10	120	リン酸系	15	25.3	8.1	56.0	75.3	82.5	2338	77.6	V-1	14.3
参考例6	70	b1-1	30	-	-	C-2	10	200	スルホン酸系	15	73.5	11.3	54.7	115.3	84.6	2335	80.3	V-0	45.2
実施例7	70	b1-1	30	-	-	C-3	10	300	リン酸系	15	70.8	10.1	54.0	126.6	83.2	2343	81.1	V-1	51.0
比較例1	70	-	-	B'-1	30	C-1	3	120	リン酸系	12	35.7	10.5	57.8	26.8	91.5	2564	85.8	not-V	36.8
比較例2	70	-	-	B'-2	30	C-1	10	120	リン酸系	15	29.8	8.1	57.6	124.1	90.3	2392	90.0	not-V	10.6
比較例3	60	b1-1	40	-	-	C-1	10	120	リン酸系	15	23.5	7.5	53.4	142.6	90.5	2415	87.2	not-V	31.1
比較例4	70	-	-	b2-1	30	C-1	10	120	リン酸系	15	5.0	2.5	58.4	97.3	93.9	2696	81.9	not-V	5.2
比較例5	70	b1-1	30	-	-	C'-1	10	75	脂肪酸系	15	5.2	2.1	53.1	66.8	86.7	2205	82.6	not-V	58.4
比較例6	70	b1-1	30	-	-	C'-2	10	290	脂肪酸系	15	10.2	4.5	58.4	70.2	81.3	2330	80.9	not-V	59.5
比較例7	70	b1-1	30	-	-	C'-3	10	350	脂肪酸系	15	76.5	10.8	52.2	102.2	81.2	2299	80.7	not-V	31.3

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 8】

表 1 より以下のことが分かる。各参考例及び実施例のポリカーボネート系樹脂組成物は、耐衝撃性、難燃性、及び溶融時の流動性それぞれが良好な値を示し、各物性のバランスが良好であった。